

平成16年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
代 表 者 取締役社長 大 坪 愛 雄
コード番号 6 6 7 4 東証・大証各1部
問 合 せ 先 執行役員 財務統括部長 岩 岸 軍 次
T E L 0 7 5 - 2 5 3 - 3 8 0 0

子会社の業績予想の修正に関するお知らせ
(株式会社 ユアサ コーポレーション分)

最近の業績の動向等を踏まえ、当社子会社である株式会社 ユアサ コーポレーションが、平成15年11月10日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成16年3月期業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	60,000	900	500
今 回 修 正 予 想 (B)	59,000	1,000	130
増 減 額 (B - A)	1,000	100	370
増 減 率 (%)	1.7	11.1	74.0
(ご参考) 前期実績(平成15年3月期)	61,703	778	481

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 0円73銭

2. 平成16年3月期連結業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	133,000	3,000	1,000
今 回 修 正 予 想 (B)	131,000	1,260	1,550
増 減 額 (B - A)	2,000	1,740	2,550
増 減 率 (%)	1.5	58.0	-
(ご参考) 前期実績(平成15年3月期)	132,213	2,998	1,257

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 8円76銭

3. 修正の理由

(1) 単独の業績

売上高は、電池・電源システム部門全般におきまして、販売価格の低下が続く中、物量面では下半期に増加に転じたものの、上半期の冷夏による需要の落ち込み等の影響が大きく減収となりました。

一方、損益につきましては、受取配当金の増加がありましたが、売上高の減少が大きく影響し、減益となりました。

(2) 連結の業績

売上高は、海外につきましてはアジアを中心として増加しましたが、国内につきましては販売価格の低下により減少したため、全体として減収となりました。

一方、損益につきましても、アジアを中心に海外子会社の業績は順調に推移しましたが、国内での業績低迷により、コスト削減が売価下落を補うことができなかったため、全体として減益となりました。

以 上